

Weekly Accounting Review

2010年2月24日 (No.045)

株式会社エスネットワークス

会計・監査・税務に関する最新情報をお送りします。

【今週号のトピック】

- 会計／「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」等の公表に伴う他の会計基準等の改正について
- 税務／企業再生税制適用場面においてD E Sが行われた場合の債権等の評価に係る税務上の取扱いについて

【先週の特別損益等 I R】

- 株式会社グローバルダイニング：減損損失の計上
- 株式会社松屋：早期退職優遇制度に伴う損失の計上
- アイダエンジニアリング株式会社：厚生年金基金脱退に伴う損失の計上

【先週の会計監査人交代等 I R】

- 株式会社チップワンストップ
- 株式会社C & G システムズ

1. 「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」等の公表に伴う他の会計基準等の改正について（2月19日）

企業会計基準委員会は「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」等の公表に伴う他の会計基準等の改正を公表しました。

https://www.asb.or.jp/asb/asb_j/documents/docs/equity_method_2/;jsessionid=F3E40E2DA3A7D63EDBDC2E8E6EFDA02F

2009年12月4日に企業会計基準第24号「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」及び企業会計基準適用指針第24号「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」が公表されましたが、当該公表に対応して、これまでに公表した会計基準等における所要の改正の検討をしております。今回は「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」及び「繰延資産の会計処理に関する当面の取扱い」について所要の改正を行っております。

ショート・コメント

「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」等の公表に伴う、上記記載以外の会計基準等についての変更については、企業会計基準が別途検討を行っております。

2. 企業再生税制適用場面においてDESが行われた場合の債権等の評価に係る税務上の取扱いについて

(2月22日)

国税庁は、企業再生税制適用場面においてDESが行われた場合の債権等の評価に係る税務上の取扱いについて経済産業省から照会を受け、回答を行っております。

<http://www.nta.go.jp/shiraberu/zeiho-kaishaku/bunshokaito/hojin/100222/index.htm>

経済産業省からの照会内容は、以下の通りです。

(1) 企業再生税制適用場面における債務者の取扱い

⇒現物出資債権の時価を、法人税法施行令第8条第1項第1号における給付を受けた金銭以外の資産の価額（DESにより増加する資本金等の額）とする

(2) 企業再生税制適用場面における債権者（DESにより新たに株主になる者）の取扱い

⇒株式の取得価額は、法人税法施行令第8条第1項第1号における給付を受けた金銭以外の資産の価額とする ※（1）と同じ

これにつき、国税庁は、上記理解の通りであるとの回答を行っております。

ショート・コメント

上記のように、DESが行われた場合の債権等の評価が明確化されたことにより、今まで以上にDESの活用がなされると考えられます。

3. 先週の特別損益等IR（2月15日～2月19日）

(1) 株式会社グローバルダイニング（証券コード7625、東証二部）：減損損失の計上【2月15日】

株式会社グローバルダイニングは「権八 ビバリーヒルズ」について、収益性の低下により投資額の回収可能性が低いと判断し、減損損失528百万円を特別損失に計上することとしました。第36期有価証券報告書（2009年1月1日-2009年12月31日）によると、2009年12月31日時点の「権八 ビバリーヒルズ」の有形固定資産簿価は998百万円であり、その約半分が減損されることとなります。

なお、株価は発表日終値209円から発表日翌日終値210円と1円上昇しております。

(2) 株式会社松屋（証券コード8237、東証一部）：早期退職優遇制度に伴う損失の計上【2月15日】

株式会社松屋は早期退職優遇制度の実施に伴い、171名の人員に対し特別加算金等の支給を行うことにより、約31億円を特別損失に計上することとなりました。2009年2月28日現在の連結グループの人員数は1,244名であり、その約6分の1を削減することとなります。単純に計算すると、一人当たり約18百万円の費用が発生することとなります。株式会社松屋は当該人員の減少に伴い、年間の人件費が約8億円減少すると発表しております。

なお、株価は発表日終値735円から発表日翌日終値729円と6円下落しております。

(3) アイダエンジニアリング株式会社（証券コード6118、東証一部）：厚生年金基金脱退に伴う損

失の計上【2月16日】

アイダエンジニアリング株式会社は固定費削減を実施し、収益体質への早期改善を図っておりますが、年金制度改革として厚生年金基金（日本工作機械関連工業厚生年金基金 総合型）から脱退することに伴い発生する特別掛金の支払約20億円を特別損失に計上することとしました。

なお、株価は発表日終値302円から発表日翌日終値297円と5円減少しております。

5. 先週の会計監査人交代等IR（2月15日～2月19日）

（1）株式会社チップワンストップ（証券コード3343、東証マザーズ）【2月17日】

株式会社チップワンストップは会計監査人であるあずさ監査法人が任期満了となることに伴い、2010年3月26日開催予定の第9回定時株主総会に会計監査人を新日本有限責任監査法人とする議案を付議することを2月17日開催の取締役会にて決議しております。

（2）株式会社C&Gシステムズ（証券コード6633、JASDAQ）【2月19日】

株式会社C&Gシステムズは会計監査人である新日本有限責任監査法人が任期満了となることに伴い、会計監査人を有限責任監査法人トーマツとすることを2月19日開催の取締役会にて決議しております。

【本レポートに関するお問い合わせ先】

株式会社エスネットワークス 公認会計士 橋本 卓也

Tel:03-5573-4661 / t-hashimoto@esnet.co.jp